令和７年度　益田市社会福祉協議会

● 基本方針

地域福祉を推進する中核的な団体としての存在感を示しつつ、地域住民及び福祉組織・関係者の協働により地域生活課題の解決に取り組み、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会」づくりを推進していきます。そのためには、本会の持つ総合力とネットワーク力を活かしながら、各事業の適正な管理運営と組織の基盤強化に取り組むとともに、積極的な情報発信により地域住民や行政等から信頼される組織づくりを進めていきます。

本年度は特に、地域共生社会の実現を目指して、これまでの「地域福祉部」と「生活支援部」を新設する「地域共生社会推進部」に統合し、個別支援と地域づくりの一体的な展開を図ります。

● 重点項目

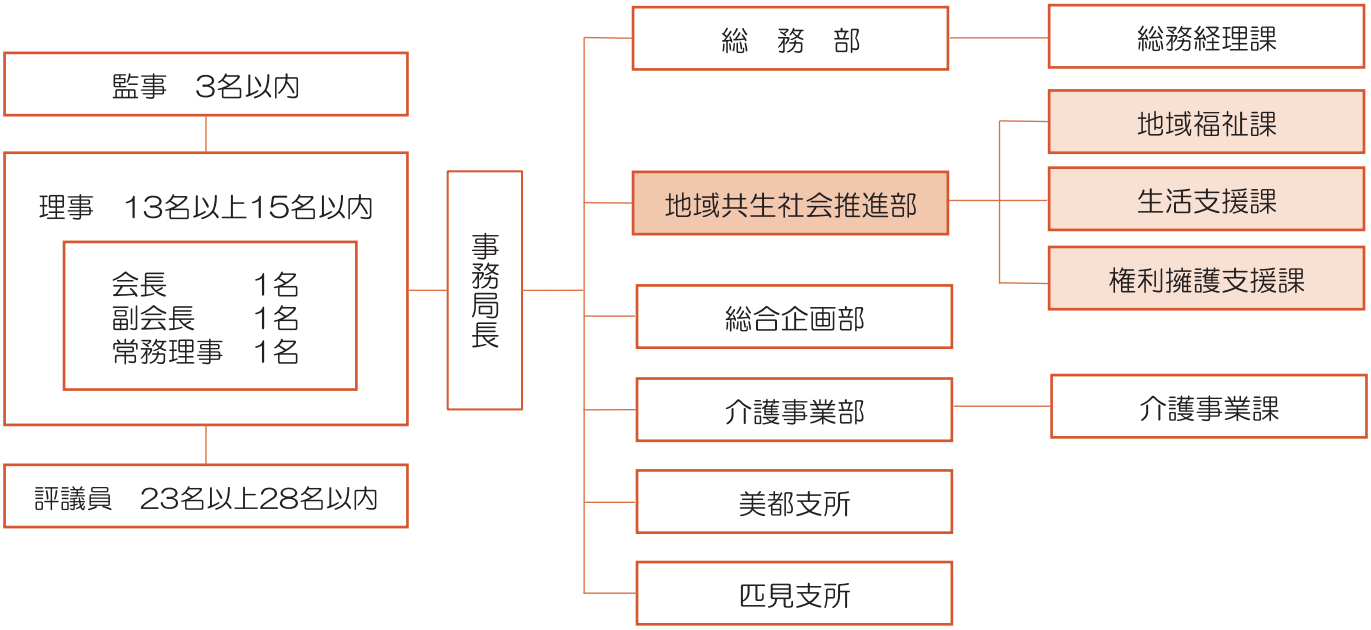
（１）第４期益田市地域福祉活動計画に基づいた地域福祉の推進
（２）包括的な相談支援体制の強化と権利擁護支援体制の構築
（３）指定管理事業・介護サービス事業所等の適正な管理運営
（４）社会福祉法人等との連携・協働による地域公益活動の推進
（５）本会の総合力向上と更なる発展に向けた経営基盤の強化

● 組織図

～組織改編により、新しい体制になりました～

「地域福祉部」と「生活支援部」を、新設する「地域共生社会推進部」に統合し、個別支援と地域づくりの一体的な展開を図ります。

そのうえで、認知症になっても、障がいがあっても、身寄りに頼れなくなったとしても、誰一人取り残されることがないよう、助けを求めた時に誰かが助けてくれる、共に支え合いながら誰もが安心して暮らすことができるまちづくりを推進します。



地域の支え合いが防災につながる!?

令和7年2月27日（木）令和６年度 第２回生活支援体制整備事業研修会を開催しました。この研修会では『防災を通しての支え合いの地域づくり』を目的として、益田市危機管理課・真砂地区自主防災団体・益田市社会福祉協議会がそれぞれの立場から説明・講演を行いました。

『益田市の防災についての現状』
益田市危機管理課

『自主防災を通しての
地域での支え合いづくり』
真砂地区自主防災団体

『防災を通しての地域の共助づくり
～益田市社協の取り組み～』
益田市社会福祉協議会

特に真砂地区自主防災団体４班班長 斎藤義則氏の下波田地区の現状を踏まえた具体的な取り組みについての発表は、多くの参加者の関心を集めていました。27世帯の中、高齢者世帯が11世帯（高齢化率74%）の地区では、言葉どおり皆が支え合いながら生活をしています。地区の皆で認識を共有出来ているので、あと5年は大丈夫だろう、けれど10年後は…というシビアな現実も垣間見えていました。

アンケートより感想抜粋

〇実際の真砂地区での現状を話して下さり、自分のまわりだけでなく、同じ益田市民として考え、対処していかなければと思いました。まず地区の実情を知ることが大事で、今回有意義でした。
〇真砂での幅広い取組みが素晴らしいと感じました。また、個人情報も大事だが、災害時は命の方が大事だということ、それを実践されておられることが頼もしく感じられました。
〇地域で地域のことを話す機会が少なくなっているので、今後あらゆる機会をとらえて地区民同士話す場を設けたいと思っています。

益田市社会福祉協議会は、災害に備えた地域の支え合いのしくみづくりへの協力も行っています。
自分や大切な家族のためにも、災害への備えを今から始めてみませんか。

老人週間期間中（9月16日～19日）の**福祉バス利用抽選日**は、

5月29日（木）です　10：00～

老人週間に、より多くの団体さんに利用いただくため、抽選会を開催いたします！

久城北自治会支え合いマップづくり

2月9日、16日の２日間で久城北自治会支え合いマップづくり（更新作業）を行いました。これは久城北自治会が長年続けておられる年に１回の行事で、今回で10回目となりました。

支え合いマップづくりでは、各組ごとに地図に空き家などの現在の状況を記入したり、気になる人の支援について話し合います。どの組も熱心に取り組まれ、「支え合いマップづくりで地域のことを知ることができた」や「災害時には一人暮らしの方への声掛けをどうするか話し合えた」などの感想がありました。

個人情報を把握することが難しくなってきた昨今、久城北自治会の活動は地域情報の把握にとても有効だといえます。これからもこの活動を続けられるよう、社協もバックアップしていきます。

みなさんの地区でも支え合いマップを作ってみませんか？

（中部地域生活支援コーディネーター：田村）

防災研修に役立つチラシができました！

防災について何から始めたらよいのか分からない、地域で防災について学びたい、そんな時にぜひこのチラシをお役立てください！チラシは社協ホームページからもダウンロードが可能です！！

地域食堂「ひなげし食堂」in　匹見能登自治会

「ひなげし食堂」は、匹見女性消防団（団員8名、OG3名）が匹見全域に出かけ、子どもから高齢者まで多世代が集える場を作りたいと、令和５年６月１日に設立されました。

令和７年３月９日（日）、暦の上では春とはいえまだ寒いこの日、能登自治会（６世帯１１名）を対象にひなげし食堂がオープンしました。集会所には、Iターン・Uターンを含む住民、スタッフ合わせて１９名が集いました。当日のメニューは、広島風お好み焼き！大家族にお邪魔したような雰囲気の中、ホットプレートで焼いた熱々を一緒に食べ、「キャベツが甘くて美味しい」とみなさんおかわりをされていました。匹見分遣所からは、火災の注意喚起と消火器の設置について話され、火災予防に対する意識を高める機会となりました。

社協匹見支所は、今後もひなげし食堂の活動を応援していきます。

（匹見支所：前田）

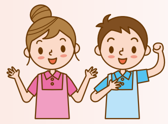
分遣所より防災グッズのプレゼント

昔の遊び　けん玉に挑戦中！

益田市社会福祉法人連絡会　会員法人を紹介します！

社会福祉法人 暁ほほえみ福祉会

【法人本部】
所在地：益田市高津町イ２５５９－１
（介護複合施設つむぎ内）
問合せ先：０８５６－２５－７０７０
URL：https://akatsuki-hohoemi.jp/



【施設名】
- 益田ひかり保育所・真砂保育園・吉田こども園
- 益田赤十字病院　企業内保育所　いろどり保育園
- 東仙道保育所・都茂保育所
- 益田市病児保育室ぞうさんのせなか
- デイサービスセンターひぐらし苑
- 機能訓練特化型デイサービス　おりがみ
- 介護複合施設つむぎ・介護複合施設まとい
- 就労継続支援事業所デイブレイク（R8年4月開始予定）

【その他の事業】
- 放課後児童クラブ業務受託事業
- イベント等の託児受託事業
- 保育士就学資金貸付事業
- 介護福祉士養成就学資金貸付事業
- 買い物バスの運行（真砂）
- 保育所レストランの開催（美都）
- 地域食堂「カレー屋イッタク」の開催

【法人ＰＲ】

カレー屋イッタク

地域食堂「カレー屋イッタク」では、企業または個人から提供された“ごちそうするよ”のお気持ちチケット。店内にあるGossoチケットを使って無料で食事をすることが出来ます。
毎月第3土曜日　まとい「地域交流スペース」にて開催しています。
※詳細はＱＲコードから読み取り下さい ------▶

Facebook

Instagram

【法人からのメッセージ】
法人理念「認め合い、支え合い、誰もが生き生きと笑顔で暮らせる地域社会の実現」を目指して、福祉の問題である「福祉課題」と地域の困りごとである「地域課題」のどちらにもアプローチできるよう各事業を展開しています。
「既存の事業では手の届かない方々に、どうすれば手を伸ばすことが出来るのか、それを一生懸命に考え具体的に行動できる法人でありたい」この想いを胸に職員一同活動してまいります。

発行・編集：社会福祉法人 益田市社会福祉協議会
〒698-0036 益田市須子町３-１
TEL:0856-22-7256 FAX:0856-23-4177
社協e-mail:masuda_h@masuda-shakyou.or.jp
「はぁーてぃ」は英語で“心の温かい”“真心のこもった”という意味をもつ「Hearty」の読みを日本語表記したものです。